

まめってえ通信

第10号

平成23年1月15日

発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1
電話 050-3736-6218
FAX 020-4622-9939
毎月1回ぐらい発行
URL <http://www.kinasa.net>
mail mamettee@kinasa.net



会員募集中!!

WW講演会 第1弾

12月20日、鬼無里中学校において、大出副理事長がヴェルフェンヴェング村で撮った写真をスクリーンに映し出しながら、学んだことや気づいたことを中学生に聞いてもらいました。鬼無里との違い、日本との違いを感じてもらい、「国際交流の足がかり」だ

ったり、「見習いたい点・見習えない点」の発見や、「鬼無里を見直すきっかけ」などに役立てば良いな!と思っっています。この日は残念ながら中学生が実際にどう思ったか聞くことができませんでしたが、若くて柔軟な思考の彼らがどう感じたのか、とっても興味があるので、次回おじゃました時に聞かせてくださいね。

「循環型社会」について調べてみました。

普通、自然界は循環しています。大気も水も大地も。



昔は人間もその循環に逆らわずに生活していたはず。なのに、私たちの生活は、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会になってしまいました。天然資源には限りがあります。いつかなくなってしまう。だから今「安心していつまでも使い続けられるエネルギー」に移行しなければ!

「循環型社会」とは「資源を大切に、環境に負担のかからない社会」という意味。今日本では、法律が制定され国家レベルで循環型社会を目指しています。

＜具体的な方法として＞

ごみを出さない



再利用ができない場合は、きちんと処分

出たごみはできるだけ再利用

さて、鬼無里では、何をどうできるでしょうか。

～どんなことをしていくの?～

- その7 「経済活動の活性化を図る活動」
- 「職業能力の開発又は雇用機会の拡充を図る活動」



この2つの項目を選んだのは、どちらも「まちおこし」としてとても重要で必須な条件だったからです。また、私たちの活動が実を結び、理想通りになった時、活気が戻り「経済活動が活性化」「雇用機会が拡充」するであろうと踏んでいたりします。

「農業で生計が立てられる」、「自然に負担のかかっていない“観光地”」、などなど、私たちのコンセプトにずれない形での活動を行い、鬼無里への移住希望者やUターン希望者が何の不安もなく来れるような、安心して観光できるような鬼無里にしていきます。

イベント案内(他団体主催)

- 2/20 第11回鬼無里市開催
- 2/20※調理実習＜納豆・豆腐＞申込必要



まめってえ1・2月のスケジュール

- 1月 大出副理事長が再びヴェルフェンヴェング村へ6ヶ月の研修
- 1/19(水)19:00 から鬼無里活性化センターにて 第2回「鬼無里の交通に関して意見を出しあう会」開催
- 2/6(日)10:00 から 大日方理事長宅にて きなさのごはん ～ないものは食べない～ 冬のラン千会 *** 雪遊びと「ひばのかす汁」(郷土料理) *** <注意>10組のみの募集となります。申し込みはお早めに

私へ

理事 古畑 真規子

10年前の私へ あなたには想像も出来ないでしょうけど、今の私は、鬼無里にすっかりとけ込み、「8年前に越してきた」とか「県外から嫁に来た」と言っても「そうだったか?」と言われるほど。あんなに苦手だった虫も、素通りできるほどに成長し、苦手だった山道の運転も、今では都会での運転の方が苦手になってしまったほどです。子どもは2人います。夫の両親と同居しているの、6人家族の大所帯です。そして「NPO法人まめってえ鬼無里」で鬼無里の活性化を目指して活動しています。

…どれ1つとっても、想像できなかった事ばかりですね。実は、それら全てに振り回されていたりしますが、山あり谷あり、持ち前の気楽さで前向きに楽しくやっております。

そして10年後の私へ お元気ですか? まめってえ鬼無里はどうなっていますか? 実は全く想像できていません。もちろん「理想」は常に持ちそれに到達できるよう、近づけるようにしています。ですが、その結果どうなっているのか。思ったとおりの鬼無里に? それともそれ以上? うん、とっても楽しみです。そして「まめってえ通信」は? もし、10年続いていたら、第10号? どんな形態をしているんだろう? 今と同じ???

何より、10年後も楽しみながら活動していますか? ハッピーですか? 10年後のあなたの笑顔のために! 今頑張ろうと思います。では、またね。